



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 日本ドライケミカル株式会社  
 コード番号 1909 URL <https://www.ndc-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠山 榮一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 亀井 正文  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3599 - 9500

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,948	12.7	298	247.6	318	233.8	190	793.3
2019年3月期第1四半期	7,054	34.2	85		95		21	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 124百万円 (495.4%) 2019年3月期第1四半期 20百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	26.93	
2019年3月期第1四半期	3.01	

当社は、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	25,840	12,551	48.6
2019年3月期	28,056	12,550	44.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 12,551百万円 2019年3月期 12,550百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		25.00		17.50	
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		12.50		17.50	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,463	0.3	156	69.6	169	68.3	100	67.4	14.12
通期	37,000	1.9	1,710	0.7	1,750	0.9	1,130	1.5	159.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	7,181,812 株	2019年3月期	7,181,812 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	100,624 株	2019年3月期	100,624 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	7,081,188 株	2019年3月期1Q	7,081,188 株

当社は、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの、雇用・所得環境に改善が続くなかで、緩やかな回復基調が継続しているようです。一方で、米国における政治・経済および通商政策の動向、ヨーロッパやアジアにおける地政学リスクを受けて海外経済の不確実性の高まりも意識され、先行きへの不透明感、警戒感が引き続き認識される状況となりました。

当社グループの属する防災業界におきましても、民間設備投資は、東京オリンピック・パラリンピックを背景に堅調に推移しているものの、一方で国内労働市場の逼迫感は急速に広がってきており、なお、先行きへの懸念は払拭できませんが、政府による経済再生に向けた諸政策のもと、消費者マインドの改善とともに、総需要の底上げによる景気浮揚への期待感は膨らんでいるようにも見受けられます。

このような経済状況のもと、当社グループは、引き続き自動火災報知設備から消火設備、消火器そして消防自動車までを広くカバーする総合防災企業としての立ち位置を更に強化しつつ、製品ラインアップの拡充を図り積極的な営業活動を推進してまいりました。また、各種防災設備の設計・施工、消火器及び消防自動車等の製造そしてそれらのメンテナンスを通じて、世の中に高度な安心・安全を提供し、より良質な社会インフラを構築するという社会的使命を果たすべく、グループ一丸となって注力しております。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は7,948百万円(前年同期比894百万円増加)となりました。利益につきましては、営業利益298百万円(同212百万円増加)、経常利益318百万円(同223百万円増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益190百万円(同169百万円増加)となりました。

当社グループは、各種防災設備の設計・施工・保守点検、消火器及び消火設備、消防自動車、自動火災報知設備の製造・販売、防災関連用品の仕入・販売等、幅広く防災にかかわる事業を行っており、単一セグメントであるため、業績については営業種目別に記載しております。

営業種目別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 防災設備事業

当第1四半期連結累計期間は、都市再開発およびリニューアル等の大型工事案件の進捗が進んだこと、プラント施設の工事案件増加等により、売上高は4,536百万円(前年同期比677百万円増加)となりました。売上総利益につきましては、905百万円(同62百万円増加)となりました。

#### ② メンテナンス事業

当第1四半期連結累計期間は、改修・補修工事案件にかかる引き合いは継続してあり、その掘り起こしを積極的に進めたこと等により、売上高は1,561百万円(同198百万円増加)となりました。売上総利益につきましては、587百万円(同42百万円増加)となりました。

#### ③ 商品事業

当第1四半期連結累計期間は、消火器類の販売および小型工事案件の引き合いが堅調でありましたが、売上高は1,656百万円(同134百万円減少)となりました。売上総利益につきましては、314百万円(同43百万円増加)となりました。

#### ④ 車輜事業

当第1四半期連結累計期間は、電力会社向け特殊車輜の納入があったこと等により、売上高は194百万円(同152百万円増加)となりました。売上総利益につきましては、2百万円の損失(前年同四半期は81百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、25,840百万円（前連結会計年度末比2,215百万円減少）となりました。

流動資産は、16,679百万円（同3,034百万円減少）となりました。主な内容は、現金及び預金2,579百万円（同1,090百万円減少）、受取手形、売掛金及び完成工事未収入金7,518百万円（同2,712百万円減少）、電子記録債権3,310百万円（同211百万円増加）、商品及び製品1,428百万円（同207百万円増加）等であります。

固定資産は、9,161百万円（同818百万円増加）となりました。主な内容は、有形固定資産5,152百万円（同107百万円減少）、のれん1,242百万円（同39百万円減少）、投資その他の資産2,672百万円（同960百万円増加）等であります。

負債合計は、13,288百万円（同2,216百万円減少）となりました。

流動負債は、11,210百万円（同2,233百万円減少）となりました。主な内容は、支払手形、買掛金及び工事未払金4,636百万円（同1,344百万円減少）、電子記録債務2,178百万円（同71百万円増加）、短期借入金1,350百万円（同100百万円増加）、未払法人税等25百万円（同572百万円減少）、未成工事受入金1,340百万円（同125百万円増加）、賞与引当金194百万円（同618百万円減少）等であります。

固定負債は、2,078百万円（同16百万円増加）となりました。主な内容は、長期借入金395百万円（同55百万円減少）、退職給付に係る負債753百万円（同9百万円減少）、繰延税金負債348百万円（同91百万円増加）等であります。

純資産合計は、12,551百万円（同0百万円増加）となりました。主な内容は、配当金の支払123百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益190百万円を計上したことによる利益剰余金が8,044百万円（同66百万円増加）、その他有価証券評価差額金250百万円（同42百万円減少）等であります。これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は48.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

今後、業績予想値に修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,669,631	2,579,190
受取手形、売掛金及び完成工事未収入金	10,230,487	7,518,339
電子記録債権	3,099,171	3,310,475
商品及び製品	1,220,720	1,428,551
仕掛品	366,225	516,640
原材料及び貯蔵品	699,903	799,314
未成工事支出金	235,005	335,006
その他	203,239	201,111
貸倒引当金	△10,911	△9,528
流動資産合計	19,713,473	16,679,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,208,066	4,209,747
減価償却累計額	△1,278,979	△1,324,161
建物及び構築物(純額)	2,929,087	2,885,586
その他	4,244,126	4,221,514
減価償却累計額	△1,913,714	△1,955,065
その他(純額)	2,330,412	2,266,448
有形固定資産合計	5,259,499	5,152,034
無形固定資産		
のれん	1,282,325	1,242,696
その他	88,779	94,082
無形固定資産合計	1,371,105	1,336,778
投資その他の資産	1,712,099	2,672,341
固定資産合計	8,342,704	9,161,154
資産合計	28,056,178	25,840,256
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形、買掛金及び工事未払金	5,980,912	4,636,365
電子記録債務	2,106,684	2,178,220
短期借入金	1,250,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	503,120	478,552
未払法人税等	597,430	25,282
未成工事受入金	1,214,481	1,340,395
賞与引当金	812,513	194,101
役員賞与引当金	22,796	3,402
完成工事補償引当金	62,385	60,692
その他	893,954	943,887
流動負債合計	13,444,278	11,210,899
固定負債		
長期借入金	450,000	395,000
役員退職慰労引当金	133,991	139,207
修繕引当金	48,000	48,500
退職給付に係る負債	763,216	753,385
繰延税金負債	256,880	348,752
その他	409,311	393,219
固定負債合計	2,061,399	2,078,064
負債合計	15,505,677	13,288,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	700,549	700,549
資本剰余金	3,620,607	3,620,607
利益剰余金	7,977,239	8,044,037
自己株式	△116,139	△116,139
株主資本合計	12,182,258	12,249,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293,403	250,484
為替換算調整勘定	△22,493	△41,443
退職給付に係る調整累計額	97,332	93,196
その他の包括利益累計額合計	368,242	302,236
純資産合計	12,550,500	12,551,292
負債純資産合計	28,056,178	25,840,256

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,054,176	7,948,695
売上原価	5,476,701	6,144,110
売上総利益	1,577,475	1,804,584
販売費及び一般管理費	1,491,530	1,505,813
営業利益	85,944	298,770
営業外収益		
受取利息	283	328
受取配当金	18,738	20,889
持分法による投資利益	4,243	1,094
その他	10,280	11,981
営業外収益合計	33,545	34,293
営業外費用		
支払利息	5,078	2,821
為替差損	2,494	11,517
事務所移転費用	16,235	—
その他	260	200
営業外費用合計	24,068	14,539
経常利益	95,422	318,525
特別利益		
固定資産売却益	236	—
特別利益合計	236	—
特別損失		
固定資産除売却損	10,275	441
特別損失合計	10,275	441
税金等調整前四半期純利益	85,383	318,083
法人税、住民税及び事業税	7,264	5,531
法人税等調整額	56,768	121,834
法人税等合計	64,033	127,365
四半期純利益	21,349	190,717
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,349	190,717

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	21,349	190,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,040	△42,918
為替換算調整勘定	△4,414	△18,950
退職給付に係る調整額	△3,028	△4,136
その他の包括利益合計	△402	△66,005
四半期包括利益	20,947	124,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,947	124,712
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。